

小倉保己石巻専修大学前学長に勲二等瑞宝章



政府が4月29日付で発表した春の叙勲で、小倉保己石巻専修大学名誉教授・前学長が勲二等瑞宝章を受章、5月8日(水)、宮中で伝達式が行われた。

小倉前学長は1925年(大正14)生まれ、77歳。千葉医科大学医学部卒業、医学博士。東北大学歯学部部長等を経て、89年(平元)から学校法人専修大学常任顧問として石巻専修大学の開学に尽力。91年(平3)4月、同大学学長に就任、01年(平13)3月までの10年間、大学院の設置や地域社会との交流に貢献した。現在、学校法人専修大学顧問。

— 多くの人との触れ合いに感謝 —
小倉前学長にインタビューした。

□ご感想は…「私一人の受章というよりも、親しくしてくださった多くの方々との触れ合いによっていただいたものと、実感しております。

□石巻専大で苦労されたことは…「一つは文系・理系の併設で、特に実験・実習の伴う理系の認識を首脳陣に理解していただくこと。二つ目は大学院で、修士は2研究科同時認可を得たが、博士は理工を優先せざるを得ない状況だったこと。三つ目は就職問題で、大学のPRと学生の就職への熱意を持たせることに努めた。四つ目は、地域とのコンセンサスを図るということでした」

□今後は…「仙台の(財)かき研究所の評議員なども努めており、当分は趣味の植木の手入れや書、絵、てん刻に没頭出来そうにもないですね」

[6月15日/ニュース専修2面]

KSパートナーシップ 大学院で川崎市職員学ぶ - 初年度4人の委託生受け入れ -



昨年8月に本学と川崎市とで締結したKSパートナーシッププログラムの一環として、4月から川崎市の職員が大学院で委託生として学んでいる。

高度な政策形成能力の向上や先駆的・先導的な役割を發揮できる人材の育成を目的として同市研修所が公募、初年度は文学研究科修士課程に坂尾康章さん、山田恵実子さん、中西文子さん、法学研究科修士課程に山根崇友紀さんの4人が派遣された。

大矢根淳助教授の社会学特講Ⅱを受講している坂尾さん(環境局公害部指導課勤務)は「担当業務の背景を深めたいと考えていたので今回のチャンスをありがたいと思っています。学生時代よりも学ぶ楽しさを味わい、仲間と議論したり、先生からアドバイスをもらったりして社会学的調査論を学んでいます。この1年は学ぶスタイルを固める基礎づくりの期間にしたい」と抱負を話している。

大矢根助教授は「彼らは学びたいことがはっきりしている。通常の学部ゼミとは違い、彼が現場から持ち込んだ生のデータを素材に一問一答形式で論議を進めていて、私もいい意味での緊張関係にあります。災害社会学は調査の段階でさまざまな人との人間関係を築くことが大事。他の学生も現場の意見を聞くといういい経験になっている」と社会人学生の効果を語った。

[6月15日/ニュース専修2面]